

富士見書房
40周年
記念

ファンタジア大賞 新部門設立!

きたるべきラノベ新世代を語る

“ライトノベルらしさ”と“文芸性”を
兼ね備えた作品の大ヒットが続きます。

新しい潮流にマッチした作品、ファンタジア文庫の新世代を築く作品を求めて——。

ファンタジア大賞では、ファンタジア大賞にて「ラノベ文芸部門」を創設します!

「書き手」、「作り手」、「売り手」、それぞれの立場から贈る、作家の卵たちへのエール。

作家

冲方 丁

ジュンク堂書店員

田中香織

ファンタジア文庫編集長

田中久美子

♪ライトノベルみたいな
文芸書が続々ヒット中!

田中久美子編集長（以下「編集長」）

ファンタジア大賞のラノベ文芸部門新設記念鼎談^{ていだん}ということで、本日は、ライトノベルと一般文芸、両方でご活躍中の作家・冲方丁さんと、書店店頭という本を人が選ぶ最前線^{うぶかたとう}にいらっしゃるジュンク堂書店の田中香織さん、お二方にお集まり頂きました。よろしくお願いたします。

冲方丁（以下「冲方」）お招きありがとうございます。よろしくお願いたします。

田中香織（以下「田中（香）」）冲方さんには対談^{たいだん}でお世話になったことがあり、今日はまたお話をうかがえるのを楽しみにしてきました。よろしくお願いたします。

編集長 さっそく本題ですが、『天地明察』²の冲方さんや『図書館戦争』³の有川浩さんのように、最近、ラノベ出身の作家さんが、一般文芸の世界でも活躍されていますね。

今年、本屋大賞を受賞した『謎解きはディナーのあとで』⁴や『心霊探偵八雲』⁵は、ミステリ畑ですが、表紙にキャラクターのイラストを使うラノ

ベ的アプローチでヒット。また、電撃文庫の大人版といったイメージのあるメディアワークス文庫さんからは、『ピブリア古書堂の事件手帖』※6 シリーズがブレイクしています。

まず田中さんに質問ですが、書店店頭でこういう作品を買っていく方はどういう方々でしょうか？

新しいヒット作と新しい読者層の誕生

田中(香) まず『天地明察』ですと、私も大変おもしろく拝読しまして、「これは文芸フロアに置いてあるけれど、ラノベ読者も楽しめるのでは？」と思いました。でも、やはり買われるのはライトノベル読者とはちょっと違うお客様です。また、桜庭一樹さん※7の本は、以前はラノベコーナーで売っていたのですが、直木賞受賞後は文芸コーナーで売れるといった具合に、お客様の層がはっきり分かれましたね。

編集長 メインの客層が、ラノベ層から文芸層に拡大していった、というだけではいいのですか？

田中(香) 作家が文芸に移ったとき、かならずしもラノベ読者が一緒に移ってくれるわけではないので……。ラノベも文芸もそれほど読んでではなく



同じくらい面白いものがいくつもあんなら、クオリティの高い方が買われる。ちよつとした言い回しとか、キャラクターの扱いとか。——**冲方丁**

て、一般向けの映画やTVドラマなどと並んで、いろいろある楽しみの中の1つ、として、話題の本でもしろそうなるものを取っている層が現れた——そんなイメージですね。

冲方 「王様のブランチ」※8で紹介されたから、というのもよく聴きますね。

編集長 ええ。すごい力ですね。冲方さんは、『天地明察』を書かれた時はどういう読者層を意識されましたか？

冲方 最初は自分と同世代、ですね。しかし、たいていこちらの戦術は外れるものでして、『天地明察』も狙ったところは外れました(笑)。

冲方丁 1996年スニーカー大賞金賞受賞作『黒い季節』でデビュー。ファンタジア文庫では『カオス レギオン』『スプライトシュピーゲル』シリーズを執筆。2010年刊行の『天地明察』は、吉川英治文学新人賞や本屋大賞など多くの賞に輝いた

まず、自分と同世代の人に届けようと思ったんですが、新聞の書評などで取り上げてくださったのが養老孟司※9さんや内田樹※10さんで、男性の年配層に受け入れられました。続いて今度は女性が買うようになってきたので、パッケージを女性向けにしたら、なんとまたおじさん層に届きました(笑)。特定の層を勝手に想定してもあまり当たらないというのが正直な実感ですね。

田中(香) 『天地明察』は非常に広く売れていますね。おばさまが「あの、テレビでやってた暦の本、あるかしら」っ

※1 「ライトノベル☆めつた斬り！」(太田出版刊)の刊行を記念して2005年1月にジュンク堂書店池袋店で開催。共著者の大森望&三村美衣と冲方丁による鼎談だった。

※2 天地明察 冲方丁著/角川書店 1,890円



日本独自の太陰暦を作れ——日本文化を変えた大計画を、個の成長物語としてみずみずしくも重厚に描く傑作時代小説。2010年本屋大賞など各賞を受賞。

※3 図書館戦争 有川浩著/角川文庫 700円



言論弾圧に対する最後の砦は武装した図書館だった！ 恋ありバトルありの内容が読者に支持されTVアニメも放送された、型破りな熱血青春小説。

※4 謎解きはディナーのあとで 東川篤哉著/小学館 1,575円



令嬢刑事が出会った風変わりな事件を、毒舌執事が鮮やかに解決する連作短編集。軽妙な語り口が人気を博したライトミステリ。櫻井翔主演でTVドラマ放送中。

ておっしゃる本が『天地明察』だったりします。「あのお風呂の本ありますか」といえば『テルマエ・ロマエ』^{※11}だったり、ほとんどクイズですね(笑)。

冲方 「暦の本」に「お風呂の本」ですか。たしかに間違えてないですけど(笑)。なるほど。

編集長 冲方さんは、そういうズレや変化をどう捉えておいでですか？

冲方 読者の方は、「いかに楽しい時間を過ごすか」にお金を使うわけですから、総合的にいろいろ考えていますよね。「これさえあれば満足！」というものもないんじゃないですかね。

自分の好みに詳しい人が増えてきた

冲方 先ほど、田中さんは新しい読者層が生まれているとおっしゃっていましたが、インターネットを使えば娯楽が安易に入手出来るうえに、検索能力が高くなったお陰で、自分の楽しみを掘り下げていくことが出来る。つまり、自分の楽しみ、自分自身の好みに、相当詳しくなった人が増えた。それが、僕の実感ですね。

編集長 たしかに、世の中に楽しいものはたくさんありますし、気になったものの情報を得ようとすれば、ネット

でいくらでも拾えますよね。

冲方 ですので、作家としてどうアプローチするかの手腕が問われると考えています。

同じくらい面白いものがいくつもあ
るなら、クオリティの高い方が買われ
る。ちよっとした言い回しとか、キャ
ラクターの扱いとか。短い文章の中で
どれだけ多くの人物を捌けるかとか。
技術の問題です。

ラノベが文芸かはどうやって決まるのか

編集長 書店さんでも、扱いの難しい本が増えたんじゃないでしょうか。

田中(香) はい、常に悩んでいます、「この本どこに置こう」って(笑)。

基本は判型ですね。ラノベはほとんどが文庫サイズですけど、それが文庫より大きくなるとラノベの棚に置くべきか、一般文芸の棚に置くべきか、私たちも迷います。

編集長 編集部としても、狙って作るだけけれど、意外なところから反響が起きる、というのはよくありますね。

田中(香) 出版社の営業の方も大変そうで、たとえばメディアワークス文庫が出来たときは、「電撃文庫の近くに置かないほしい」とおっしゃって

いました。新しい読者層を狙っているわけですから一般文庫の棚に置いてほしいと。「メディアワークス文庫」というブランドがラノベを卒業した方に次で読むものを、という位置づけとして創刊されたのはとても理解出来るんです。けれど、実際に探して来られる方は電撃文庫の読者の方で、電撃文庫と並べるとよく売れます。そんなふう
に、版元^{※12}や書店の目論見とは違う方向に行ってしまうこともあります。

ライトノベルが獲得したブランドカとは

編集長 一般文庫として売っても、最初に買うのは電撃文庫のお客さん——裏を返せば、それだけ「電撃文庫」というレベルにブランド力がある、ということでしょうか。ライトノベルというワード自体も、ここ数年で格段に浸透した感がありますね。

田中(香) 私は書店でラノベを担当するようになって7、8年になります
が、そのころまだ一般では、ヤングア

編集部としても、狙って作るだけけれど、意外なところから反響が起きる、というのはよくありますね。

——田中久美子編集長

田中久美子
神一郎、秋田禎信、上遠野浩平らの担当を経て、2007年11月号より『ドラゴンマガジン』の編集長代理に。2010年4月より、ファンタジア文庫の編集長となる

※5 心霊探偵 八雲
押永学著/角川文庫 580円



赤い左目で霊を見ることのできる青年・
斉藤八雲が難事件を解き明かす。漫画、
TVドラマ、TVアニメ、舞台など様々な
メディアで展開。

ダルト」などと呼ばれていて、ライトノベル」という名称は普及し始めたばかりでした。それが今や「ライトノベル」などと普通に使われていて驚きなんです。

ラノベ担当を任せられたころは、ラノベと文芸をリンクさせようと画策したんですが、お客様には届きませんでした。途方に暮れた感がありましたね。ですから、「ラノベ文芸」がジャンルをつないでくれたらうれしいのですが、正直、どうなるのかなあと思いません。

書き手と読み手の距離の近さがラノベの魅力

編集長 冲方さんは、文芸がこれだけラノベ寄りになったのはなぜだとお考えですか。

冲方 単純に出版不況でしょう(笑)。本が売れない中で、ライトノベルは売れている。それでラノベの地位がグッと上がって、文芸編集者もパッケージをライトノベルに寄せていくようになった。

田中(香) ライトノベルのあるシリーズが「一千万部を超えた」と言うと、文芸の人は「え!? そんなに?」という感じで目が点になる。ラノベをきち

んと置けば売れて、それ目当てに毎月決まったお客様が来てくれて、というサイクルが書店でも出来上がっている。多くの面でバカにできなくなっているんです。

冲方 まあ。ライトノベルはバカにされてきたからこそ売っていたんですけれどね(笑)。

編集長 「ライトノベル」という言葉自体が社会に広まるにつれ、「ここは儲かる」とほかのジャンルの人も気がついてしまった。結果、レーベルが林立したり、一般文芸もラノベに近づいてきた、そのように感じています。

冲方 ラノベ成功の理由には、漫画と似ているところなんです。買い手が結構、クリエイター志望なんです。売れている作品を読んで「これなら、俺にも書ける!」と。そう自分を鼓舞するために買う層が相当増えたんじゃないかな。

編集長 たしかに、ドラゴンマガジンの「なりた職業アンケート」の一位は作家でした。ありがたいことに、ファンタジア大賞でも、年々応募者は増えています。

冲方 つまり、ラノベは「俺でも書けそう」といわば低くみられることで、潜在的なクリエイター志願者を集めることにも成功した。「あなたでも書け

ます」と言っただけだ。これは、いわば城でいう「本丸」を開放したということだろうなあと思っています。

この、ブランドの格下げを一気に推し進めたことによって、ラノベは爆発的に売れた。今後この動きが鎮静化するのか、それとも新たなムーブメントが起きるのかの瀬戸際じゃないかと思っています。

ただのライトノベルには興味ありません!

編集長 単にラノベがいま売れているからこのままでいい、とは考えているれないということですよ。

ラノベと一般文芸が急速に近づいている。でも、イコールではないし、読者は常に新しいものを求めている。我々も新しいものを生み出していきたくて考えています。

ファンタジア大賞でラノベ文芸という新部門を立ち上げたのも、両者をしっかりとつなぐ新しいジャンル作品を我々ファンタジア文庫から出していく時期に来たのではないかと考えたからです。

たとえば、ミステリや歴史もののようにライトノベルとは相性の悪い題材が得意で、これまでのファンタジア大

※6 ビブリア古書堂の事件手帖



人見知りの古書店店主葉子が、古書にまつわる様々な謎を豊富な知識で愛情豊かに解いていく。電撃文庫のベテラン・三上延の大ヒットシリーズ。

※7

富士見ミステリー文庫発の人気シリーズ「GOSICK」にてフレイク。2004年発表の「砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない」で文芸界の注目を集める。2008年、「私の男」で直木賞を受賞。

※8

毎週土曜朝放送の人気情報番組(TBS系)「旬の作品」やモノの紹介に定評があり、ここから人気に火がついた作品多数。「天地明察」も特集された。

※9

解剖学者。2003年「バカの壁」がベストセラーとなる。

※10

思想家にして武道家、翻訳家。「逆立ち日本論」で養老孟司と共著も発表している。

※11

ヤマザキマリのお風呂ギャグ漫画。古代ローマの浴場設計者がお風呂限定で現代日本にタイムスリップする。エンターテイン刊「コミックビーム」にて連載中。映画の公開も予定されている。

※12

出版社のこと。

※13

宮部みゆきは最大のゲーム好きとして知られる。プレイステーション2で発表されたゲーム「ICO」のノベライズを2004年に刊行した。

賞ではどうしてもこぼれてしまった、そういう才能も広く世にだしてあげればと願っているんですが。

冲方 素晴らしい。僕がデビューしたころは、そんな機運はなかったです。「求む、新しい風」と書いてあつて、本当に新しいものを出すと「こんな売れないよ」と言われる。「なんだ、欲しいものなんて決まってるんじゃないか」と思いましたね。僕らの世代はそういう跳ねっ返りが多かった(笑)。

編集長 ラノベは、若い子が初めて読む小説だったり、漫画に代わって読むものだったりするわけですから、小説

の底辺を広げてくれる部分ではわかり

やすく簡単に良いジャンルだと思っんですが、そこから一步外に踏み出してほしいですよ。ラノベ文芸がそのきっかけになってくれると、我々作り手も嬉しいんですけど。

これから作家を目指す タマゴたちへ

編集長 これから出てくるであろうラノベ文芸ジャンルに対し、どんな期待をされていますか？

冲方 期待することは何より人材です

ファンタジア文庫には

「よくわからないけど、面白そう」と思ってもひそめる

レベルになってほしいです — 田中香織



田中香織

2001年、ジュンク堂書店に入社。池袋店にてライトノベルやコミックの販売を担当しているほか、全国の新店舗立ち上げに奔走。業界にもファンの多い書店員。

ね。作家は、本来オールジャンルやれて当たり前だと思っんですよ。政治も語れて詩も詠めて小説も書けるような。森鷗外は軍人で医者で作家だし、夏目漱石は東大講師で新聞連載をこなした。宮部みゆきさんだって、ゲームのノベライズも出来る。^{※13}

だから、高みをみてほしい。その中で、自分の感性を最も発揮できるもの、ということ、ラノベ的なものをもっと進化させてほしい。

田中(香) 冲方さんは、『天地明察』を出されたとき「僕はこの作品を書いて初めて、作家」と名刺に入れようと思ったとおっしゃっていましたよね。おどろきました、それだけ冲方さんにとって、作家になるというのは重いのですね。

私は、シンプルに戻ってほしいです。「物語は何のためにあるの？」となった時に、凄く単純な答えしかないと思っんですよ。「他人は何を考えているのか知りたい」とか。作者が本気で思っったことを書いて描いてあげば、読者は胸を打たれると思います。梓や萌えの記号をわかっていないと読めない小説が楽しみの1つとしてあつてもいいのですが。

冲方 作家志願者へのアドバイスとしては、小説を書く時は、インターネッ

トに載っているものは全てライバルだと思つて書いてください。自分の書く小説よりネットで遊んでいるほうが面白いと思っようなら作家になる必要はない。ネットにある面白そうなものを取捨選択してコピペしたようなものは書かないで、自分にしか見出せないものを書いてほしいですよ。

田中(香) 挑戦が出来るものがないですね。ファンタジア文庫には「よくわからないけど、面白そう」と思っってもらえるレベルになってほしいです。面白かった時の感動は何物にも代え難いと思っんです。面白いもの年齢も性別も関係ない。たとえ意味がわからなくても夢中になれるような、読者にチャレンジさせる作品が読みたいですね。

編集長 そこに安住するのではなくて。

冲方 ええ。答えを發明する喜びを見出してほしいですね。本を読んでいると「わかった!」と思っ瞬間であるじゃないですか。

編集長 ご期待に応えられるように頑張ります(笑)。

冲方 五年後が楽しみですね(笑)。